

## 【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	中国財務局長
【提出日】	平成24年11月8日
【四半期会計期間】	第34期第2四半期（自平成24年7月1日至平成24年9月30日）
【会社名】	株式会社秋川牧園
【英訳名】	AKIKAWA FOODS & FARMS CO., LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 秋川 正
【本店の所在の場所】	山口県山口市仁保下郷317番地
【電話番号】	083(929)0630
【事務連絡者氏名】	経営管理部次長 原田 良人
【最寄りの連絡場所】	山口県山口市仁保下郷317番地
【電話番号】	083(929)0630
【事務連絡者氏名】	経営管理部次長 原田 良人
【縦覧に供する場所】	株式会社大阪証券取引所 (大阪市中央区北浜一丁目8番16号)

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第33期 第2四半期連結 累計期間	第34期 第2四半期連結 累計期間	第33期
会計期間	自平成23年4月1日 至平成23年9月30日	自平成24年4月1日 至平成24年9月30日	自平成23年4月1日 至平成24年3月31日
売上高(千円)	2,073,195	2,053,259	4,418,785
経常利益又は経常損失( ) (千円)	9,966	27,141	60,013
四半期純損失( )又は当期純利 益(千円)	21,397	39,023	27,133
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	20,113	41,109	27,396
純資産額(千円)	1,259,676	1,253,555	1,307,185
総資産額(千円)	3,908,355	3,908,366	3,862,995
1株当たり四半期純損失金額 ( )又は1株当たり当期純利益 金額(円)	5.12	9.35	6.50
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)			
自己資本比率(%)	32.2	32.1	33.8
営業活動による キャッシュ・フロー(千円)	124,241	119,107	335,066
投資活動による キャッシュ・フロー(千円)	94,583	138,355	186,167
財務活動による キャッシュ・フロー(千円)	129,003	86,656	249,329
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高(千円)	754,587	820,911	753,503

回次	第33期 第2四半期連結 会計期間	第34期 第2四半期連結 会計期間
会計期間	自平成23年7月1日 至平成23年9月30日	自平成24年7月1日 至平成24年9月30日
1株当たり四半期純損失金額 ( )(円)	3.09	7.92

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。

3. 第33期第2四半期連結累計期間及び第34期第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失金額であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

4. 第33期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### 2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。  
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

### 2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### (1)業績の状況

当第2四半期連結累計期間（平成24年4月1日～平成24年9月30日）におけるわが国の経済は、東日本大震災後の復興需要の高まりを背景に、景気は緩やかに回復しつつあるものの、欧州の債務危機や円高の長期化などから、依然として先行きが不透明な状況が続いております。

食品業界におきましては、引き続きデフレの影響で低価格志向が続いていることや、飼料を中心とする原材料価格の高騰など、継続して厳しい環境にあります。

このような状況の中、当社の主たる販売先である産直型の生活協同組合及び宅配会社に対する主力の鶏肉の販売は、前年並みに推移いたしました。鶏卵の販売が前年を下回ったため、売上高は減少いたしました。利益面につきましては、飼料を中心とする原材料価格の高騰、鶏肉の販売単価の低下、鶏肉一次処理の歩留り率の低下等により減益となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、20億53百万円（前年同期比1.0%減）、営業損失は35百万円（前年同期は18百万円の損失）、経常損失は27百万円（前年同期は9百万円の損失）、四半期純損失は39百万円（前年同期は21百万円の純損失）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### （産直畜産事業）

主に産直型の生活協同組合及び宅配会社へ販売している鶏肉、冷凍加工食品、鶏卵等で構成される産直畜産事業につきましては、主力の鶏肉の販売は前年並みに推移したものの、鶏卵の販売が前年同期を下回ったため、売上高は減少いたしました。利益面につきましては、飼料を中心とする原材料価格の高騰、鶏肉の販売単価の低下、鶏肉一次処理の歩留り率の低下等により減益となりました。

この結果、産直畜産事業の売上高は、16億78百万円（前年同期比2.3%減）、営業利益は1億18百万円（前年同期比18.4%減）となりました。

#### （総合宅配事業）

当社の食品を中心に会員宅に毎週商品をお届けする会員制宅配事業「スマイル生活」につきましては、会員数が伸長したことにより、売上高は増加いたしました。利益面につきましては、売上高の増加と粗利率の向上により、損益は改善いたしました。

この結果、総合宅配事業の売上高は、3億12百万円（前年同期比2.6%増）、営業損失は10百万円（前年同期は12百万円の損失）となりました。

#### （牛乳製造卸売事業）

牛乳や乳製品を生産、販売している牛乳製造卸売事業につきましては、売上高はほぼ前年並みとなりました。利益面につきましては、生産を担う(有)むつみ牧場と、製造を担う(有)あきかわ牛乳の生産性向上等により、損益は改善いたしました。

この結果、牛乳製造卸売事業の売上高は、26百万円（前年同期比4.2%減）、営業損失は9百万円（前年同期は10百万円の損失）となりました。

#### (2)キャッシュ・フローの分析

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、長期借入れによる収入、減価償却費、売上債権の減少、賞与引当金の増加等により、前連結会計年度に比べ67百万円増加し、8億20百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

#### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果獲得した資金は1億19百万円になりました。

これは主として、税金等調整前四半期純損失（28百万円）に対して、減価償却費（1億28百万円）、売上債権の減少（57百万円）、賞与引当金の増加（20百万円）等から、たな卸資産の増加（28百万円）等を控除した結果によるも

のであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は1億38百万円になりました。

これは主として、貸付金の回収による収入(6百万円)等から、有形固定資産の取得による支出(1億37百万円)、有形固定資産の除却による支出(2百万円)等を控除した結果によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果獲得した資金は86百万円になりました。

これは主として、長期借入による収入(2億円)等から、長期借入金の返済による支出(93百万円)、配当金の支払額(12百万円)等を控除した結果によるものであります。

(3)事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4)研究開発活動

当第2四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、17,140千円であります。

なお、当第2四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	8,000,000
計	8,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在発行数(株) (平成24年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成24年11月8日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	4,179,000	4,179,000	大阪証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数 1,000株
計	4,179,000	4,179,000	-	-

##### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (千株)	発行済株式総 数残高(千株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成24年7月1日~ 平成24年9月30日	-	4,179	-	714,150	-	381,030

(6) 【大株主の状況】

平成24年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
秋川 正	山口県山口市	1,135	27.2
秋川 實	山口県山口市	429	10.3
秋川牧園職員持株会	山口県山口市仁保下郷317	382	9.1
(株)山口銀行	山口県下関市竹崎町4丁目2-36	200	4.8
秋川 喜代子	山口県山口市	154	3.7
秋川 壽子	千葉県印西市	129	3.1
山口県信用農業協同組合連合会	山口県山口市小郡下郷2139	120	2.9
伊藤忠飼料(株)	東京都江東区亀戸2丁目35-13	106	2.5
秋川 茂	山口県防府市	69	1.7
中村 昌子	山口県山口市	52	1.2
計	-	2,777	66.5

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成24年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 5,000	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 4,168,000	4,168	-
単元未満株式	普通株式 6,000	-	-
発行済株式総数	4,179,000	-	-
総株主の議決権	-	4,168	-

【自己株式等】

平成24年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
(株)秋川牧園	山口県山口市仁保下郷317	5,000	-	5,000	0.12
計	-	5,000	-	5,000	0.12

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成24年7月1日から平成24年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、西日本監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】  
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	733,055	800,457
受取手形及び売掛金	537,045	480,004
有価証券	20,447	20,453
商品及び製品	55,373	90,075
仕掛品	229,621	235,636
原材料及び貯蔵品	68,006	56,822
その他	167,501	177,411
貸倒引当金	672	760
流動資産合計	1,810,378	1,860,100
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	669,909	660,117
土地	791,763	791,763
建設仮勘定	20,932	17,828
その他(純額)	313,319	330,420
有形固定資産合計	1,795,924	1,800,129
無形固定資産		
のれん	77,957	71,298
その他	17,438	14,399
無形固定資産合計	95,396	85,698
投資その他の資産	161,295 <sub>1</sub>	162,438 <sub>1</sub>
固定資産合計	2,052,616	2,048,266
資産合計	3,862,995	3,908,366
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	313,129	314,538
短期借入金	1,167,857	1,198,539
未払法人税等	26,319	10,606
賞与引当金	19,360	39,664
その他	263,846	253,418
流動負債合計	1,790,512	1,816,766
固定負債		
長期借入金	459,841	535,564
退職給付引当金	181,955	184,676
役員退職慰労引当金	50,824	52,253
その他	72,676	65,549
固定負債合計	765,297	838,044
負債合計	2,555,809	2,654,811



(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	714,150	714,150
資本剰余金	554,541	554,541
利益剰余金	40,798	10,745
自己株式	3,573	3,573
株主資本合計	1,305,916	1,254,372
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,269	816
その他の包括利益累計額合計	1,269	816
純資産合計	1,307,185	1,253,555
負債純資産合計	3,862,995	3,908,366

## (2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	2,073,195	2,053,259
売上原価	1,630,021	1,624,402
売上総利益	443,174	428,856
販売費及び一般管理費	461,176	464,589
営業損失( )	18,002	35,732
営業外収益		
受取利息	676	658
受取配当金	769	705
補填金収入	11,210	17,139
保険返戻金	6,643	-
その他	3,718	3,403
営業外収益合計	23,018	21,906
営業外費用		
支払利息	14,937	13,264
その他	45	51
営業外費用合計	14,982	13,315
経常損失( )	9,966	27,141
特別利益		
固定資産売却益	786	1,502
受取保険金	-	2,297
その他	62	-
特別利益合計	849	3,799
特別損失		
固定資産売却損	185	312
固定資産除却損	734	2,368
災害による損失	-	2,850
特別損失合計	919	5,530
税金等調整前四半期純損失( )	10,036	28,872
法人税、住民税及び事業税	11,382	8,481
法人税等調整額	22	1,669
法人税等合計	11,360	10,151
少数株主損益調整前四半期純損失( )	21,397	39,023
四半期純損失( )	21,397	39,023

【四半期連結包括利益計算書】  
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失( )	21,397	39,023
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	1,283	2,086
その他の包括利益合計	1,283	2,086
四半期包括利益	20,113	41,109
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	20,113	41,109

## (3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純損失( )	10,036	28,872
減価償却費	119,641	128,911
のれん償却額	8,754	6,659
貸倒引当金の増減額( は減少)	6	87
賞与引当金の増減額( は減少)	18,881	20,304
退職給付引当金の増減額( は減少)	8,251	2,721
役員退職慰労引当金の増減額( は減少)	3,736	1,429
受取利息及び受取配当金	1,446	1,363
支払利息	14,937	13,264
有形固定資産売却損益( は益)	601	1,189
有形固定資産除却損	734	2,368
売上債権の増減額( は増加)	9,155	57,041
たな卸資産の増減額( は増加)	8,261	28,616
未収入金の増減額( は増加)	31,445	4,791
仕入債務の増減額( は減少)	52,657	1,409
その他	4,219	15,200
小計	144,959	154,162
利息及び配当金の受取額	1,571	1,366
利息の支払額	14,904	13,116
法人税等の支払額	7,384	23,305
営業活動によるキャッシュ・フロー	124,241	119,107
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	103,158	137,349
有形固定資産の売却による収入	2,647	2,758
有形固定資産の除却による支出	-	2,105
貸付けによる支出	2,450	1,880
貸付金の回収による収入	10,102	6,125
ソフトウェアの取得による支出	1,245	290
その他	479	5,615
投資活動によるキャッシュ・フロー	94,583	138,355
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額( は減少)	120,000	-
長期借入れによる収入	100,000	200,000
長期借入金の返済による支出	88,670	93,595
配当金の支払額	12,370	12,295
その他	7,963	7,453
財務活動によるキャッシュ・フロー	129,003	86,656
現金及び現金同等物の増減額( は減少)	99,345	67,408
現金及び現金同等物の期首残高	853,932	753,503
現金及び現金同等物の四半期末残高	953,277	820,911

【会計方針の変更等】

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

この変更が損益に与える影響は軽微であります。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

1 資産の金額から直接控除している貸倒引当金の額

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
投資その他の資産	475千円	475千円

(四半期連結損益計算書関係)

1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
荷造運送費	107,401千円	111,047千円
給与手当	118,648	120,340
賞与引当金繰入額	15,315	16,281
退職給付引当金繰入額	5,288	5,086
役員退職慰労引当金繰入額	5,033	1,429

2 当社グループの主たる事業では、鍋シーズンやクリスマスなどの冬季に、鶏肉製品が集中して受注を受けるため、第3四半期連結会計期間の売上高は他の四半期連結会計期間の売上高と比べ著しく高くなるという季節的変動があります。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は下記のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
現金及び預金勘定	734,146千円	800,457千円
マネー・マネジメント・ファンド	20,440	20,453
現金及び現金同等物	754,587	820,911

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年6月24日 定時株主総会	普通株式	12,520	3	平成23年3月31日	平成23年6月27日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月26日 定時株主総会	普通株式	12,520	3	平成24年3月31日	平成24年6月27日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	産直畜産	総合宅配	牛乳製造卸売	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,718,189	304,299	27,254	2,049,743	23,452	2,073,195
セグメント間の内部売上高 又は振替高	49,492	1,418	29,809	80,720	120,288	201,009
計	1,767,681	305,718	57,063	2,130,463	143,741	2,274,204
セグメント利益又は損失 ( )	144,797	12,565	10,860	121,371	6,319	115,051

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、牛乳宅配事業及び物流部門等を  
含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	121,371
「その他」の区分の利益	6,319
のれんの償却額	8,754
全社費用(注)	124,298
四半期連結損益計算書の営業損失( )	18,002

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び品質管理費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	産直畜産	総合宅配	牛乳製造卸売	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,678,487	312,346	26,105	2,016,939	36,319	2,053,259
セグメント間の内部売上高 又は振替高	53,075	1,363	31,675	86,114	122,654	208,769
計	1,731,563	313,709	57,781	2,103,054	158,974	2,262,028
セグメント利益又は損失 ( )	118,153	10,944	9,834	97,374	6,508	90,865

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、牛乳宅配事業及び物流部門等を

含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	97,374
「その他」の区分の利益	6,508
のれんの償却額	6,659
全社費用(注)	119,939
四半期連結損益計算書の営業損失( )	35,732

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び品質管理費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(企業結合等関係)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
1株当たり四半期純損失金額	5円12銭	9円35銭
(算定上の基礎)		
四半期純損失金額(千円)	21,397	39,023
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純損失金額(千円)	21,397	39,023
普通株式の期中平均株式数(千株)	4,173	4,173

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失金額であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 2【その他】

該当事項はありません。



## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年11月7日

株式会社秋川牧園  
取締役会 御中

### 西日本監査法人

代表社員  
業務執行社員 公認会計士 梶田 滋 印

代表社員  
業務執行社員 公認会計士 大藪 俊治 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社秋川牧園の平成24年4月1日から平成25年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成24年7月1日から平成24年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

#### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

#### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社秋川牧園及び連結子会社の平成24年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはX B R Lデータ自体は含まれていません。